

段々畑 だんだんばたけ

耕す たがや

階段のように かいだん

段

山の斜面 やまのしゃめん



4

腹痛だ ふくつう

腹が痛い はらがいた

あいたたた

腹



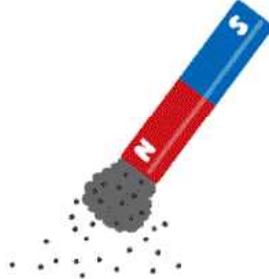
3

混じっている鉄 まじっているてつ

砂の中に すなの中

砂鉄は さてつ

砂



2

「よく見つめる」

「視」は し

視聴率 しちようりつ

視力・視察 しりよく しさつ



1

段々畑 だんだんばたけ

耕す たがや

階段のように かいだん

段

山の斜面 やまのしゃめん



4

腹痛だ ふくつう

腹が痛い はらがいた

あいたたた

腹



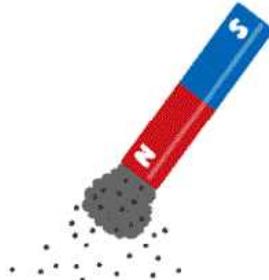
3

混じっている鉄 まじっているてつ

砂の中に すなの中

砂鉄は さてつ

砂



2

「よく見つめる」

「視」は し

視聴率 しちようりつ

視力・視察 しりよく しさつ



1

洗せん濯たく機き 洗あらう機き械かいが 汚よごれた衣い類るい

洗



8

認みとめて許ゆるすこと 願ねがいを 「認にん可か」とは

認



7

雨あめが降ふっていた 降おりたら 電でん車しゃを

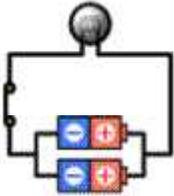
降



6

豆まめ電でん球きゅうを点てん灯とうさせる 電でん池ち並ならべて 並へい列れつに

並



5

洗せん濯たく機き 洗あらう機き械かいが 汚よごれた衣い類るい

洗



8

認みとめて許ゆるすこと 願ねがいを 「認にん可か」とは

認



7

雨あめが降ふっていた 降おりたら 電でん車しゃを

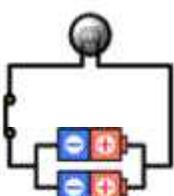
降



6

豆まめ電でん球きゅうを点てん灯とうさせる 電でん池ち並ならべて 並へい列れつに

並



5

背
背中から
バーを跳び越す
背面跳び



12

射
射程距離に
入った獲物を
矢で射る



11

純
純金・純白
「純」は「混じり気
が無い」という意味



10

異
常と異なる
普通でない
ことだから「異常」



9

背
背中から
バーを跳び越す
背面跳び



12

射
射程距離に
入った獲物を
矢で射る



11

純
純金・純白
「純」は「混じり気
が無い」という意味



10

異
常と異なる
普通でない
ことだから「異常」



9

「**域**」は 音域・地域。

「**区切りの中**」
 という意味



16

乱 乱雑な
 使用方を
 して

部屋が**乱**れる



15

舌 舌がよく
 回ることを
 滑舌が**良**いという



14

捨 四以下は**捨**て
 五以上は切り上げる

から四捨五入

32,718人
 ↓ 四捨五入
 30,000人

13

「**域**」は 音域・地域

「**区切りの中**」
 という意味



16

乱 乱雑な
 使用方を
 して

部屋が**乱**れる



15

舌 舌がよく
 回ることを
 滑舌が**良**いという



14

捨 四以下は**捨**て
 五以上は切り上げる

から四捨五入

32,718人
 ↓ 四捨五入
 30,000人

13

承 「その件、確かに承りました。」と承諾した

OK!



24

我 「我を忘れる」「我を通す」「自分は意味」



23

訪 大統領が訪日し
広島原爆資料館を訪れた



22

蔵 蔵の中
秘蔵していた
宝物



21

承 「その件、確かに承りました。」と承諾した

OK!



24

我 「我を忘れる」「我を通す」「自分は意味」



23

訪 大統領が訪日し
広島原爆資料館を訪れた



22

蔵 蔵の中
秘蔵していた
宝物



21

蒸

もち米を

蒸気で

蒸してお餅つき



25

処

ガラクタを

処分して

すっきりした部屋



26

就

職に就く

ことを

「就職」という



27

臨

海に臨んだ

場所にある

臨海工業地帯



28

蒸

もち米を

蒸気で

蒸してお餅つき



25

処

ガラクタを

処分して

すっきりした部屋



26

就

職に就く

ことを

「就職」という



27

臨

海に臨んだ

場所にある

臨海工業地帯



28

従

従順じゆうじゆんに

指示しじに従したがう

かわいい愛犬あいけん



29

恩

命いのちの恩人おんじんの

おじいさんに

恩返おんがえしに來きた鶴つる



30

裁

訴うったえや

争あらしいを

裁さばくことが

「裁判さいばん」



31

律

法律ほうりつは

国くにの決きまりです



32

従

従順じゆうじゆんに

指示しじに従したがう

かわいい愛犬あいけん



29

恩

命いのちの恩人おんじんの

おじいさんに

恩返おんがえしに來きた鶴つる



30

裁

訴うったえや

争あらしいを

裁さばくことが

「裁判さいばん」



31

律

法律ほうりつは

国くにの決きまりです



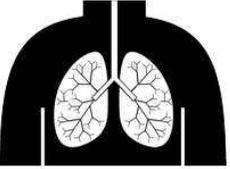
32

「肺臓」

呼吸をするところが

胸の

肺



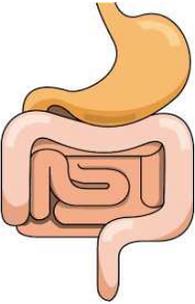
36

「腸」

腹の中

大腸・小腸・

十二指腸



35

「臓」

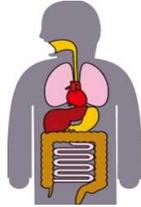
肺臓など

体の中の

臓を「臓」という

臓

心臓・肝臓



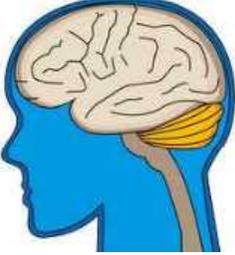
34

「脳」

脳と

小脳から

できている脳



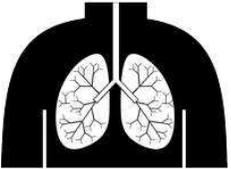
33

「肺臓」

呼吸をするところが

胸の

肺



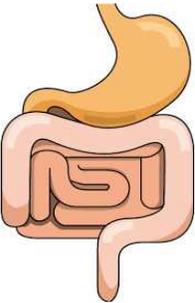
36

「腸」

腹の中

大腸・小腸・

十二指腸



35

「臓」

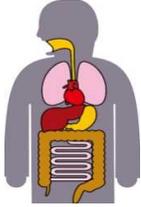
肺臓など

体の中の

臓を「臓」という

臓

心臓・肝臓



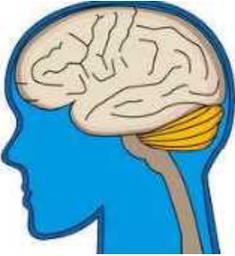
34

「脳」

脳と

小脳から

できている脳



33

胃

食べ過ぎて

ああ胃が痛い

胃薬だ



37

私

私物・私服

「私」は「私」

・個人の

という意味



38

密

秘かに話す

二人だけの秘密



39

呼

呼んでも

返事が無い

時は人工呼吸を

始めなさい



40

胃

食べ過ぎて

ああ胃が痛い

胃薬だ



37

私

私物・私服

「私」は「私」

・個人の

という意味



38

密

秘かに話す

二人だけの秘密



39

呼

呼んでも

返事が無い

時は人工呼吸を

始めなさい



40

激流 げきりゅう 激しい流れを
 という



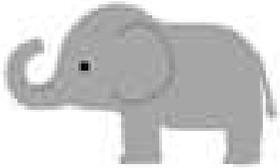
44

刻々 こつこく と
 時を刻んで ときをきんで いる
 時計 とけい



43

存 ぞん
 日本にも にほんにも
 象が存在した ぞうがぞんざいした
 ことは存じて ぞんじて おります



42

吸 いき
 「呼吸」とは こきゅうとは
 息を吸ったり いきをすったり
 吐いたり はいたり すること



41

激流 げきりゅう 激しい流れを
 という



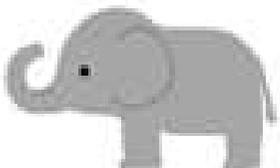
44

刻々 こつこく と
 時を刻んで ときをきんで いる
 時計 とけい



43

存 ぞん
 日本にも にほんにも
 象が存在した ぞうがぞんざいした
 ことは存じて ぞんじて おります



42

吸 いき
 「呼吸」とは こきゅうとは
 息を吸ったり いきをすったり
 吐いたり はいたり すること



41

簡

簡単かんたんな

問題もんだいなので

簡潔かんけつに

答えこたなさい



45

難

難むずかしくて

解決かいけつするのは

困難こんなんだ



46

机

机つくえの上うえを

机上きじょうという



47

疑

本ほん当とう？「それ

疑うたがわしくて

半信半疑はんしんはんぎだ



48

簡

簡単かんたんな

問題もんだいなので

簡潔かんけつに

答えこたなさい



45

難

難むずかしくて

解決かいけつするのは

困難こんなんだ



46

机

机つくえの上うえを

机上きじょうという



47

疑

本ほん当とう？「それ

疑うたがわしくて

半信半疑はんしんはんぎだ



48

と警告する
「止まりなさい」

警官が

敬言



52

いろいろな流派あり

裏千家
茶道に

表千家や

派



51

一位になった

競走で

障害物

障



50

買った

乗車券を

駅の券売機で

券




49

と警告する
「止まりなさい」

警官が

敬言



52

いろいろな流派あり

裏千家
茶道に

表千家や

派



51

一位になった

競走で

障害物

障



50

買った

乗車券を

駅の券売機で

券




49

署

消防署見学

消防士の

話を聞く



53

銭

銭湯は

銭を払って

入る風呂



54

勤

会社に勤める

お父さん

毎日電車で通勤する



55

署

消防署見学

消防士の

話を聞く



53

銭

銭湯は

銭を払って

入る風呂



54

勤

会社に勤める

お父さん

毎日電車で通勤する



55

諸

「諸」は

「多くの」

という意味

諸国・諸島



56

諸

「諸」は

「多くの」

という意味

諸国・諸島



56

供

お盆には
お供え飾り
先祖を
供養



57

収

二桁勝利を
収めて
収入が
倍増した
選手



58

納

税金を
納める
ことが「納税」
品物を
納める
ことが「納品」



59

枚

五枚ずつ
同じ枚数
トランプ配る



60

供

お盆には
お供え飾り
先祖を
供養



57

収

二桁勝利を
収めて
収入が
倍増した
選手



58

納

税金を
納める
ことが「納税」
品物を
納める
ことが「納品」



59

枚

五枚ずつ
同じ枚数
トランプ配る



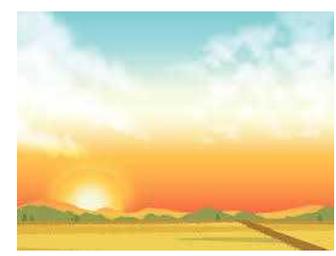
60

探 名探偵 手がかり探って
事件を解決



64

暮 日が暮れて 辺りは 暮色に包まれた



63

宣 高校野球 大きな声で 選手宣誓



62

染 「染色」とは 布や糸を 染めること



61

探 名探偵 手がかり探って
事件を解決



64

暮 日が暮れて 辺りは 暮色に包まれた



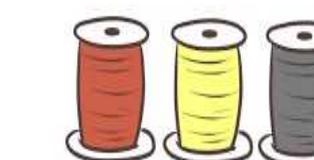
63

宣 高校野球 大きな声で 選手宣誓



62

染 「染色」とは 布や糸を 染めること



61

生いきるけん権り利
 人ひとがけん権り「人じん権けん」は
 人ひとらしく
 68



著ちやう者しゃのにん人き気も高たかまる
 著いちじるしくく
 売うれゆ行きが
 本ほんの
 67



通かよいますます
 幼おやないこ子どもが
 幼よう稚ち園えん
 66



座すわる
 正せい座ざで
 座ざ布ぶ団だんに
 65



生いきるけん権り利
 人ひとがけん権り「人じん権けん」は
 人ひとらしく
 68



著ちやう者しゃのにん人き気も高たかまる
 著いちじるしくく
 売うれゆ行きが
 本ほんの
 67



通かよいますます
 幼おやないこ子どもが
 幼よう稚ち園えん
 66



座すわる
 正せい座ざで
 座ざ布ぶ団だんに
 65



尊

人を尊とうといもの

として

敬うやまうことが

「尊敬そんけい」



69

庁

県庁けんちよう・警視庁けいしちよう

「庁ちよう」は「役所やくしよ」

という意味だ



70

装

服装ふくそうを

夏の装ばそおいにする

「衣替ころもがえ」



71

届

落おとし物ものを

交番こうばんに

届とどける



72

尊

人を尊とうといもの

として

敬うやまうことが

「尊敬そんけい」



69

庁

県庁けんちよう・警視庁けいしちよう

「庁ちよう」は「役所やくしよ」

という意味だ



70

装

服装ふくそうを

夏の装ばそおいにする

「衣替ころもがえ」



71

届

落おとし物ものを

交番こうばんに

届とどける



72

宙 ちゆう 軽 かろ やかに
宙返 ちゆうがえ りする
体操選 たいそうせん 手 しゅ



76

字 じ 宇 う 宙 ちゆう ロケツト
乗 の っ て み た い な
火 か 星 せい ま で



75

冊 さつ 一 いっ 冊 さつ ・ 二 に 冊 さつ ・
「冊」は
「書物・本」のこと



74

浴 えん 沿 えん 道 どう ・ 沿 えん 岸 がん
「浴」は
流れに浴 そ う こと



73

宙 ちゆう 軽 かろ やかに
宙返 ちゆうがえ りする
体操選 たいそうせん 手 しゅ



76

字 じ 宇 う 宙 ちゆう ロケツト
乗 の っ て み た い な
火 か 星 せい ま で



75

冊 さつ 一 いっ 冊 さつ ・ 二 に 冊 さつ ・
「冊」は
「書物・本」のこと



74

浴 えん 沿 えん 道 どう ・ 沿 えん 岸 がん
「浴」は
流れに浴 そ う こと



73

俳

俳句は

五七五の

短い詩



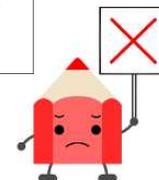
77

誤

書き誤りを

誤字という

~~成績~~



78

幕

戦場で幕を

張った中に

将軍がいた

ので「幕府」



79

晩

朝から晩まで

研究に没頭する

科学者



80

俳

俳句は

五七五の

短い詩



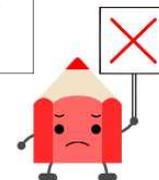
77

誤

書き誤りを

誤字という

~~成績~~



78

幕

戦場で幕を

張った中に

将軍がいた

ので「幕府」



79

晩

朝から晩まで

研究に没頭する

科学者



80

模

大規模な

平城京の

復元模型



81

模

大規模な

平城京の

復元模型



81

窓

車窓から

眺める

窓の外の景色



82

窓

車窓から

眺める

窓の外の景色



82

延

決めてあった日を

先に延ばす

ことが

「延期」



83

延

決めてあった日を

先に延ばす

ことが

「延期」



83

論

長時間

論じ合い

やっと結論が出た



84

論

長時間

論じ合い

やっと結論が出た



84

源 みなもと 水を

流 なが れ出 で る

源 げん 流 りゅう という

水 みず の



88

値 ち

価 か 値 ち ある作品 さくひん と

評 ひょう 価 か され

一 いち 億 おく 円 えん の値 ね がついた



87

覧 らん

「覧」は

展 てん 覧 らん 会 かい ・ 観 かん 覧 らん 車 しゃ

「見 み 回 まわ す

眺 なが める「こと



86

樹 じゆ 齢 れい

三 さん 千 せん 年 ねん

縄 じょう 文 もん 杉 すぎ の大 たい 樹 じゆ



85

源 みなもと 水を

流 なが れ出 で る

源 げん 流 りゅう という

水 みず の



88

値 ち

価 か 値 ち ある作品 さくひん と

評 ひょう 価 か され

一 いち 億 おく 円 えん の値 ね がついた



87

覧 らん

「覧」は

展 てん 覧 らん 会 かい ・ 観 かん 覧 らん 車 しゃ

「見 み 回 まわ す

眺 なが める「こと



86

樹 じゆ 齢 れい

三 さん 千 せん 年 ねん

縄 じょう 文 もん 杉 すぎ の大 たい 樹 じゆ



85

退

天皇の位を

退くことが

「退位」



89

厳

厳重に

厳しく見張る

警備員



90

優

優しくて

技能も優れた

優秀な人



91

推

計画を

推し進める

推進役になる



92

退

天皇の位を

退くことが

「退位」



89

厳

厳重に

厳しく見張る

警備員



90

優

優しくて

技能も優れた

優秀な人



91

推

計画を

推し進める

推進役になる



92

貴

貴重・貴金属

「貴」は「貴い」

という意味



93

策

策略を

用いて

戦に勝つ



94

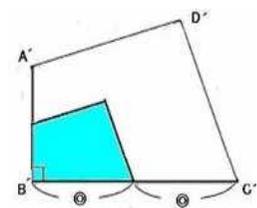
縮

縮めて

描いた図が

「縮図」

元の形の



95

棒

使って

バーを

跳び越す棒高跳び

棒を



96

貴

貴重・貴金属

「貴」は「貴い」

という意味



93

策

策略を

用いて

戦に勝つ



94

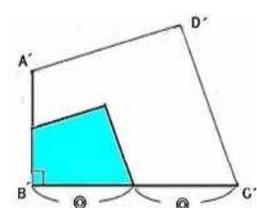
縮

縮めて

描いた図が

「縮図」

元の形の



95

棒

使って

バーを

跳び越す棒高跳び

棒を



96

揮 先生の指揮に合わせる
合唱する



100

寸 一寸は約三センチ
寸は「ほんの少しの」
という意味もある



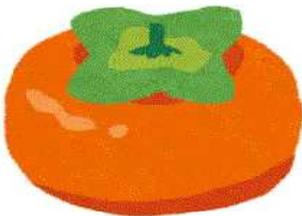
99

尺 尺・寸は昔の長さの単位です



98

熟 柿の実が熟れて真っ赤に熟したよ



97

揮 先生の指揮に合わせる
合唱する



100

寸 一寸は約三センチ
寸は「ほんの少しの」
という意味もある



99

尺 尺・寸は昔の長さの単位です



98

熟 柿の実が熟れて真っ赤に熟したよ



97

痛

足を痛め

動くと

激痛が走る



101

批

作品の

できばえを

批評する審査員



102

傷

傷口が浅く

軽傷で済んだ



103

若

年が若く

世間を知らない

若輩者



104

痛

足を痛め

動くと

激痛が走る



101

批

作品の

できばえを

批評する審査員



102

傷

傷口が浅く

軽傷で済んだ



103

若

年が若く

世間を知らない

若輩者



104

縦
 縦と横
 縦横に走る
 都会の道路



108

翌
 翌日・翌週
 「翌」は
 「次の」という意味だ



107

遺
 貝塚から
 縄文時代の
 遺物が見つかる



106

閉
 閉園の
 時刻が来たので
 門を閉じる



105

縦
 縦と横
 縦横に走る
 都会の道路



108

翌
 翌日・翌週
 「翌」は
 「次の」という意味



107

遺
 貝塚から
 縄文時代の
 遺物が見つかる



106

閉
 閉園の
 時刻が来たので
 門を閉じる



105

頂

山の頂いただきを

「山頂さんちよう」という



109

忠

駅前えきまえで

主人しゆじんを待まちち続つづけた

忠犬ちゆうけんハチ公こう



110

誠

誠まことの心こころを込こめ

誠意せいいを持もって

取とり組くむ



111

敵

相あ手ては

強きやう敵てき

油断ゆだんはするな



112

頂

山の頂いただきを

「山頂さんちよう」という



109

忠

駅前えきまえで

主人しゆじんを待まちち続つづけた

忠犬ちゆうけんハチ公こう



110

誠

誠まことの心こころを込こめ

誠意せいいを持もって

取とり組くむ



111

敵

相あ手ては

強きやう敵てき

油断ゆだんはするな



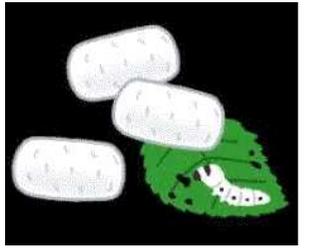
112

蚕

蚕から

生糸を取る

養蚕業



113

己

「克己」とは

「己（自分）に

打ち克つ」

こと



114

除

除雪・除草

「除」は

取り除く

という意味だ



115

仁

「医は仁術」

思いやりの心を

「仁」という



116

蚕

蚕から

生糸を取る

養蚕業



113

己

「克己」とは

「己（自分）に

打ち克つ」

こと



114

除

除雪・除草

「除」は

取り除く

という意味だ



115

仁

「医は仁術」

思いやりの心を

「仁」という



116

盟

を結び

ロシアと

戦った日本

日英同盟




120

系

地球は

太陽系に

属している



119

裏

表と裏

裏側を

裏面という



118

泉

水の湧き出る

ところが泉

その水が

熱いと温泉



117

盟

を結び

ロシアと

戦った日本

日英同盟




120

系

地球は

太陽系に

属している



119

裏

表と裏

裏側を

裏面という



118

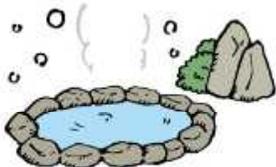
泉

水の湧き出る

ところが泉

その水が

熱いと温泉



117

選えらばれた
 の班長はんちように
 登校班とうこうはん

班



124

善よいことは
 進すすんでやろう
 「善ぜんは急いそげ」だ

善



123

小鳥ことりが止とまる
 切り株きりかぶに
 木きの

株



122

妹いもうと
 何なんでも欲ほしがる
 欲張よくばって

欲



121

選えらばれた
 の班長はんちように
 登校班とうこうはん

班



124

善よいことは
 進すすんでやろう
 「善ぜんは急いそげ」だ

善



123

小鳥ことりが止とまる
 切り株きりかぶに
 木きの

株



122

妹いもうと
 何なんでも欲ほしがる
 欲張よくばって

欲



121

「**至**難の技」
 という

「**至**難の技」
 という

難しいことを
 「**至**難の技」
 という

至 至って

128 

「**否**」
 「君が悪い！」

と聞くや**否**や
 「**否**」
 「君が悪い！」

僕**否**定した
 「**否**」
 「君が悪い！」

127 

割
 割安の
 商品
 分割払いで買った

「**割**」
 「君が悪い！」

と聞くや**否**や
 「**否**」
 「君が悪い！」

僕**否**定した
 「**否**」
 「君が悪い！」

126 

危
 「危ないよ。」
 そこは危険だ
 近づくな

「**危**」
 「君が悪い！」

と聞くや**否**や
 「**否**」
 「君が悪い！」

僕**否**定した
 「**否**」
 「君が悪い！」

125 

「**至**難の技」
 という

「**至**難の技」
 という

難しいことを
 「**至**難の技」
 という

至 至って

128 

「**否**」
 「君が悪い！」

と聞くや**否**や
 「**否**」
 「君が悪い！」

僕**否**定した
 「**否**」
 「君が悪い！」

127 

割
 割安の
 商品
 分割払いで買った

「**割**」
 「君が悪い！」

と聞くや**否**や
 「**否**」
 「君が悪い！」

僕**否**定した
 「**否**」
 「君が悪い！」

126 

危
 「危ないよ。」
 そこは危険だ
 近づくな

「**危**」
 「君が悪い！」

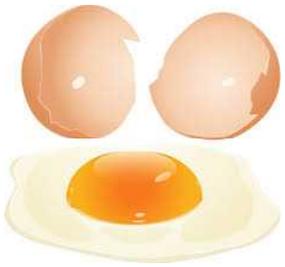
と聞くや**否**や
 「**否**」
 「君が悪い！」

僕**否**定した
 「**否**」
 「君が悪い！」

125 

卵たまごの中身なかみは
卵黄らんわうと卵白らんぱく

卵



132

紅葉こうよう
もみじの葉はっぱが
紅色べにいろに

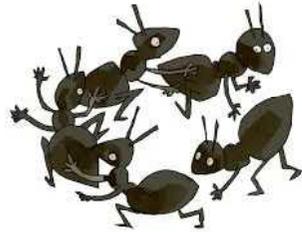
紅



131

甘いあま砂糖さとうに
群むらがる
アリの群れむれ

糖



130

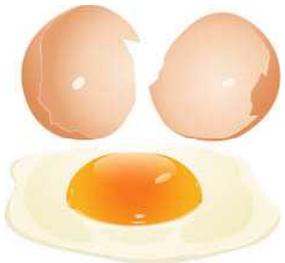
「宅たく」は「住すまい」
宅配便たくはいびん
住宅・宅地じゅうたく・たくち
という意味いみだ



129

卵たまごの中身なかみは
卵黄らんわうと卵白らんぱく

卵



132

紅葉こうよう
もみじの葉はっぱが
紅色べにいろに

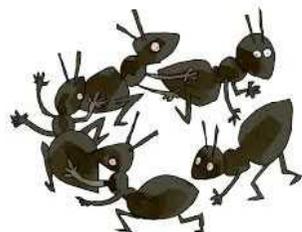
紅



131

甘いあま砂糖さとうに
群むらがる
アリの群れむれ

糖



130

「宅たく」は「住すまい」
宅配便たくはいびん
住宅・宅地じゅうたく・たくち
という意味いみだ



129

誕 たんじょうび 今日 きょう は わたくし 私 わたし の

誕 たんじょうび 生 じょう 日 び

誕 たんじょうび 生 じょう ケーキ

う れ し い な



136

奏 かっ 楽 き 器 が を 奏 かな で

交 こう 響 きょう 曲 きょく を

演 えん 奏 そう する

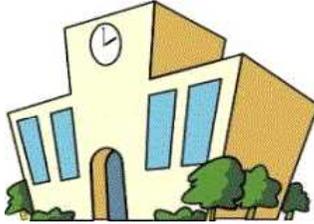


135

創 がっ 学 がっ 校 こう が

創 つく ら れ た 日 ひ

創 そう 立 りつ 記 き 念 ねん 日 び

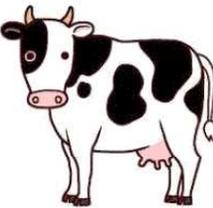


134

乳 ちち を 搾 しぼ る

た め に 育 そだ て た

乳 にゅうぎゅう 牛 ぎゅう



133

誕 たんじょうび 今日 きょう は わたくし 私 わたし の

誕 たんじょうび 生 じょう 日 び

誕 たんじょうび 生 じょう ケーキ

う れ し い な



136

奏 かっ 楽 き 器 が を 奏 かな で

交 こう 響 きょう 曲 きょく を

演 えん 奏 そう する



135

創 がっ 学 がっ 校 こう が

創 つく ら れ た 日 ひ

創 そう 立 りつ 記 き 念 ねん 日 び

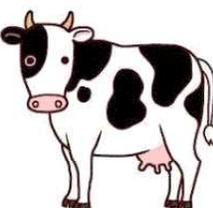


134

乳 ちち を 搾 しぼ る

た め に 育 そだ て た

乳 にゅうぎゅう 牛 ぎゅう



133

盛り^も上^あがる
開^{ひら}かれ
パ^パーティが

盛

盛大^{せいだい}に



140

伸^のばし
筋^{きん}骨^{こつ}が
たくましい若^{わか}者^{もの}

筋

背^せ筋^{すじ}をピンと



139

世^せ話^わをする
手^て当^あてや
病^{びょう}人^{にん}の

看

看護^{かんご}師^し



138

助^{たす}けたマザーテレサ
困^{こま}っている人々^{ひとびと}を
貧^{ひん}困^{こん}で

困



137

盛り^も上^あがる
開^{ひら}かれ
パ^パーティが

盛

盛大^{せいだい}に



140

伸^のばし
筋^{きん}骨^{こつ}が
たくましい若^{わか}者^{もの}

筋

背^せ筋^{すじ}をピンと



139

世^せ話^わをする
手^て当^あてや
病^{びょう}人^{にん}の

看

看護^{かんご}師^し



138

助^{たす}けたマザーテレサ
困^{こま}っている人々^{ひとびと}を
貧^{ひん}困^{こん}で

困



137

「郷」は「ふるさと」

郷里・故里



144

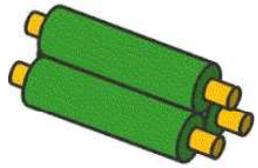
宝船

金銀の財宝満載



143

巻物は一巻二巻と数えます



142

骨格という骨組みを体を支える



141

「郷」は「ふるさと」

郷里・故里



144

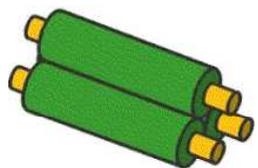
宝船

金銀の財宝満載



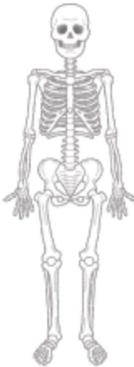
143

巻物は一巻二巻と数えます



142

骨格という骨組みを体を支える



141

「絹雲」です

絹系のよう
な筋雲



148

オリンピックの
聖火リレー



147

神秘的な伝説
に伝えられた
秘かに



146

目上の人を
敬い
敬語で話
す



145

「絹雲」です

絹系の
ような筋雲



148

オリンピックの
聖火リレー



147

神秘的な伝説
に伝えられた
秘かに



146

目上の人を
敬い
敬語で話
す



145

干 かん 干拓 かんたく

潮干狩り しおひが

「干」は「干す」。

乾かす「こと」

152



亡 な 秀吉が ひでよし

豊臣家は滅亡 とよとみけめつぼう

亡くなりやがて

151

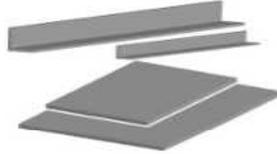


鋼 こう 炭素を たんそ

混せて作った まぜてつく

鋼の板が「鋼板」 はがねいたがこうばん

150



拝 らい 礼拝堂 らいはいどう

心静かに こころしずかに

神を拝む かみをおがむ

149



干 かん 干拓 かんたく

潮干狩り しおひが

「干」は「干す」。

乾かす「こと」

152



亡 な 秀吉が ひでよし

豊臣家は滅亡 とよとみけめつぼう

亡くなりやがて

151

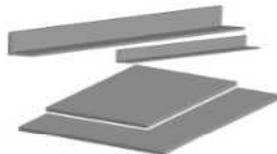


鋼 こう 炭素を たんそ

混せて作った まぜてつく

鋼の板が「鋼板」 はがねいたがこうばん

150



拝 らい 礼拝堂 らいはいどう

心静かに こころしずかに

神を拝む かみをおがむ

149



孝

親孝行
したい時には
親は無し



156

賃

電車の運賃
子どもは大人の
半額です



155

郵

郵便局で
郵便切手を
買った



154

衆

大勢の
観衆が
見守る中ゴールイン。



153

孝

親孝行
したい時には
親は無し



156

賃

電車の運賃
子どもは大人の
半額です



155

郵

郵便局で
郵便切手を
買った



154

衆

大勢の
観衆が
見守る中ゴールイン



153

訳

通訳をして
もらったら
訳が分かった

160



俵

「俵」とは
わらで編んだ
米の袋 一俵
二俵と数える

159



穀

米・麦・大豆
主食となる穀類

158



預

銀行に
お金を預けることを
「預金」という

157



訳

通訳をして
もらったら
訳が分かった

160



俵

「俵」とは
わらで編んだ
米の袋 一俵
二俵と数える

159



穀

米・麦・大豆
主食となる穀類

158



預

銀行に
お金を預けることを
「預金」という

157



朗ほがらかで
朗めい朗ろう快かい活かつな人ひと
明あかるい性せい格かく



朗

164

詞し「は」
詞し「は」
言こと葉ば「
詞し」は
歌か詞し・作さく詞し
という意い味みだ



詞

163

暖だん冬とうで暖あたたかく
雪ゆきも少すくない
今ことし年の冬ふゆ
暖



162

忘ぼう却きやくとは
忘わすれ去さる
ことだ
忘



161

朗ほがらかで
朗めい朗ろう快かい活かつな人ひと
明あかるい性せい格かく



朗

164

詞し「は」
詞し「は」
言こと葉ば「
詞し」は
歌か詞し・作さく詞し
という意い味みだ



詞

163

暖だん冬とうで暖あたたかく
雪ゆきも少すくない
今ことし年の冬ふゆ
暖



162

忘ぼう却きやくとは
忘わすれ去さる
ことだ
忘



161

「将棋」です
 遊びが
 取り合う
 将王将を



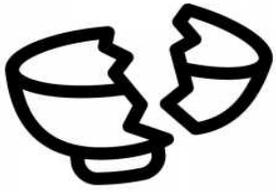
168

劇場で
 人形劇を
 発表したよ



167

片
 二つの破片
 片一方だけ
 拾ったよ



166

胸
 胸の周りの
 長さを測る
 胸囲測定



165

「将棋」です
 遊びが
 取り合う
 将王将を



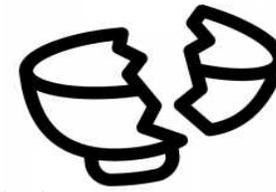
168

劇場で
 人形劇を
 発表したよ



167

片
 二つの破片
 片一方だけ
 拾ったよ



166

胸
 胸の周りの
 長さを測る
 胸囲測定



165

憲 「日本国憲法」の
 制定された
 日
 憲法記念日



172

陛 皇太子に
 位を譲られた
 天皇陛下



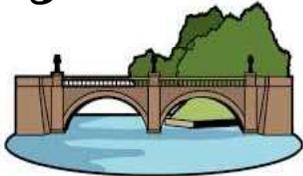
171

后 天皇の
 お后様が
 皇后陛下



170

皇 天皇が
 住んでおられる
 皇居



169

憲 「日本国憲法」の
 制定された
 日
 憲法記念日



172

陛 皇太子に
 位を譲られた
 天皇陛下



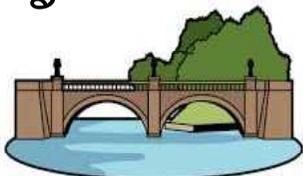
171

后 天皇の
 お后様が
 皇后陛下



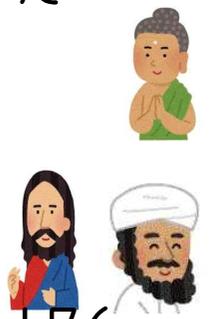
170

皇 天皇が
 住んでおられる
 皇居



169

宗 仏教・イスラム
 教・キリスト教
 世界の
 三大宗教だ



176

革 動物の革で
 作った
 皮革製品



175

閣 内閣の
 各大臣を
 「閣僚」という



174

党 政権を
 担当する
 政党が与党



173

宗 仏教・イスラム
 教・キリスト教
 世界の
 三大宗教だ



176

革 動物の革で
 作った
 皮革製品



175

閣 内閣の
 各大臣を
 「閣僚」という



174

党 政権を
 担当する
 政党が与党



173

操 コントローラー

巧みに操り

ドローンを

操縦

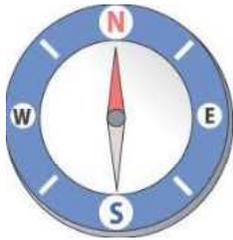


180

磁 南北を示す

磁石の針

方位磁針

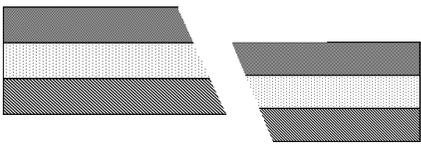


179

層 地層が

地震で崩れ

断層になる



178

垂 ポタリポタリと

水が垂れる

垂線を描く

ように



177

操 コントローラー

巧みに操り

ドローンを

操縦

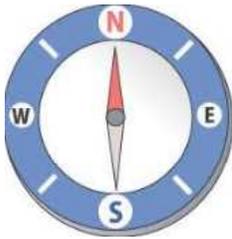


180

磁 南北を示す

磁石の針

方位磁針

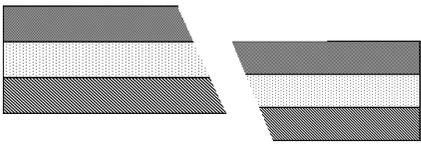


179

層 地層が

地震で崩れ

断層になる



178

垂 ポタリポタリと

水が垂れる

垂線を描く

ように



177

討うち取とった

頭とうりょう領を

討う伐はつし

海かい賊ぞくを

184



姿すがた

晴はれ姿すがた

良よい姿し勢せいで

写しゃ真しんを撮とろう

183

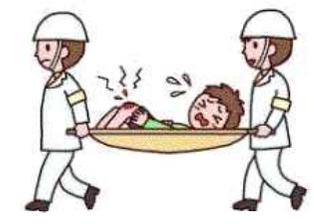


担たん架かは便べん利り

担かついで運はこぶ

けが人にんを

182



補ほ給きゅう

無なくなった

分ぶんを補おぎなうのが

181



討うち取とった

頭とうりょう領を

討う伐はつし

海かい賊ぞくを

184



姿すがた

晴はれ姿すがた

良よい姿し勢せいで

写しゃ真しんを撮とろう

183

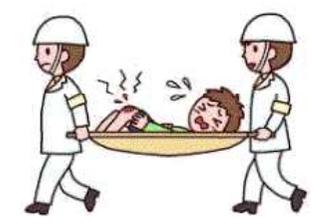


担たん架かは便べん利り

担かついで運はこぶ

けが人にんを

182



補ほ給きゅう

無なくなった

分ぶんを補おぎなうのが

181



穴 石器時代の
人間は洞穴で
穴居生活を
していた



188

針 葉が
針のように
細長い木は
針葉樹



187

潮 干潮だ
潮干狩りに
行く



186

専 専ら
女性だけが乗る
女性専用の車両だ



185

穴 石器時代の
人間は洞穴で
穴居生活を
していた



188

針 葉が
針のように
細長い木は
針葉樹



187

潮 干潮だ
潮干狩りに
行く



186

専 専ら
女性だけが乗る
女性専用の車両だ



185

灰

石灰石

灰色をした

石です



189

奮

「奮起」

とは

心を奮い立たせて

元気を出すこと



190

済

借金の

返済が

全部済んだ

完済だ



191

灰

石灰石

灰色をした

石です



189

奮

「奮起」

とは

心を奮い立たせて

元気を出すこと



190

済

借金の

返済が

全部済んだ

完済だ



191